

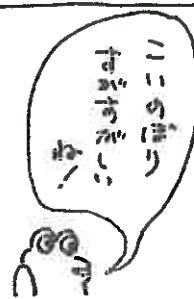
杉坂くんと北岡さんのページです

まち家の

田子ちゃん by 杉坂くん

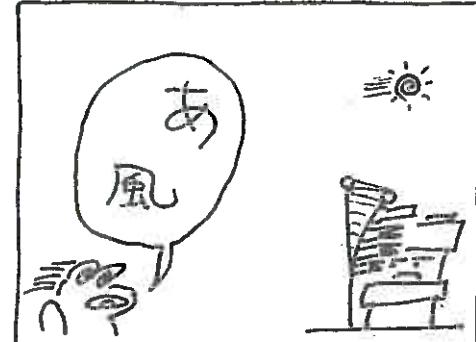
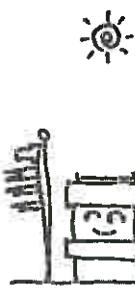


こいのぼりと風の巻



こいのぼり

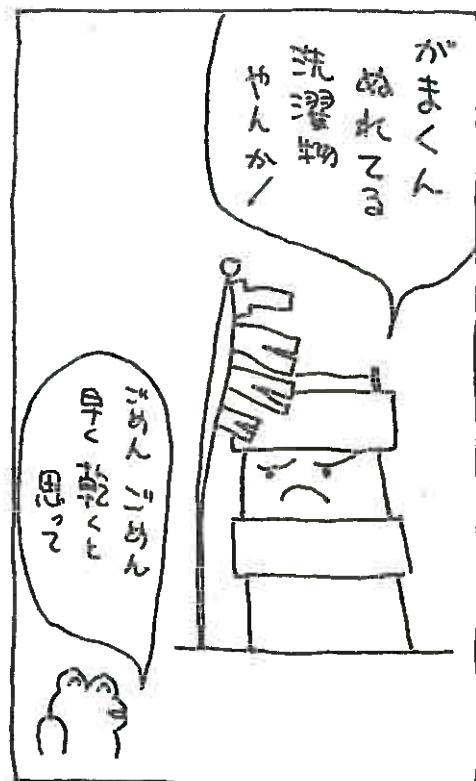
すがすがしい



あ

風

風



やんか
流
灌
物
ぬれ
まく
てき
ん

思
ひ
が
めん
が
めん
が
めん

わが家の家庭菜園の野菜達

ねぎ

今では一年中食べられますが、冬の野菜です。冷えた体を温め、疲労回復に効果のある野菜といわれています。わが家ではねぎ焼きが人気！

薄く粉をひいた上に細かく切ったねぎをおき、干し海老、天かす、卵。

ソースでもそばつゆ系のものにつけても美味しい。

きゅうり＆なすび

とても柔らかく（なすびは皮が柔らかい）きゅうりは、そのまま食べてももちろん美味しいのですが、わが家はぬか漬け。（夏になると一人当りきゅうり1本、なす1本食べます(*^*)V）

プチトマト

トマトは難しいようで、皮が硬かったり、収穫が早かったりと苦戦中。でも畠仲間にはとっても美味しいトマトを作る師匠もいます。

さやいんげん

ビタミンA、B1、ビタミンB2、ビタミンC、カリウム、カルシウム、アミノ酸の一種のリジン植物繊維などが豊富。これが収穫時期になると大忙し。

連日食卓に登場します。

天ぷらとの愛称抜群！人気のメニューです。

さつまいも

以前、野菜泥棒に会い、収穫時期のさつまいもがいっぱい盗されました。でも負けずに作ってます。毎日愛情こめて作ってますので、盗らないでね(**)

※ブログ「北ちゃん頑張ってます」でも時々紹介してますので、機会があればのぞいて見てくださいね。

ローマは1日にしてならず、

野菜も1日にしてならず！！

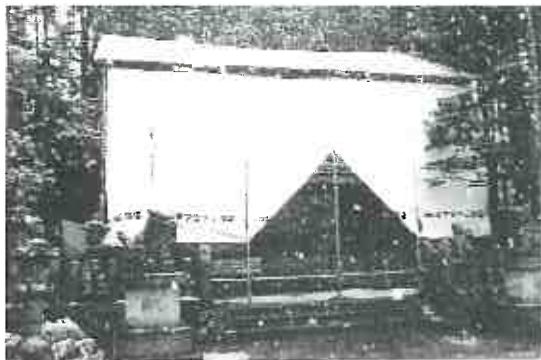
なーんて失礼いたしました。。。 By 北岡さん

By 杉坂くん

福知山市の牧一宮神社の改修工事です。

素屋根を架けて瓦を降ろし、改修を行いました。冬場は寒がつたヨ

なにはおいてもまず素屋根を架けます。周囲をシートで覆ってさあこれから瓦を降ろし解体だ。寒いけど、周りを囲うとなんか暖かいな。気分的にも何かウレシイ。



サア、解体が終わりました。工場で加工してきた新しい材を取り付けていきます。
化粧垂木に広小舞、隅木に萱負いとたくさんあります。妻側の破風なども取り替えていきます。



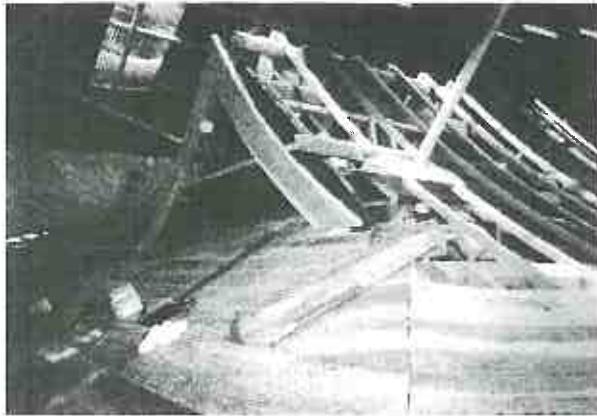
化粧野地を張る前に一度シートを外し全体のバランスなど見渡せるようにして確認します。四方共見て行きます。

予定の反りがでているのでこれで化粧野地を張っていきます。張り終えたら次に跳ね木を入れます。これで軒先が重みで下がるのを防ぎます。昔の人はエライね。だって跳ね木の端は何も止っていないんだから。



これで荒野地を張っていきます。反りの曲がりに合わせて野垂木を順次取り付けていきます。破風の部分は少し勾配になるので野地板もこれに併せて張り上げていきます。

張り終わったら瓦を上げて屋根全体に重量をかけます。軒先と破風からまず止めていきます。反りがあるので慎重に割り付けも行います。最後に棟を積み上げて終了です。



素屋根を撤去し、掃除をして完成です。今日は落成式です。

式では会長が感謝状もいただきました。有難うございました。

下の写真は、正面と側面です。



隅木と化粧垂木化粧野地の綺麗な線が出ています。小口の白い胡粉が鮮やかに映えています。壁の漆喰も真っ白に塗り替えて目に痛いほどです。

初めは寒かったのですが、この日は暖かく晴れやかな日でした。

この工事は地元の大工さんに1人手伝っていただきました。御苦労様でした。

住まいについてのいろいろな話 (家の手入修繕から、気をつけることなど)

第10回

暖かくなってきたので、DIYで日曜大工でウッドデッキを作る

なんかはどうでしょうか。その時の少し役立つお話を。

庭や外で木製のデッキを張り座るのもいいものです。(家の中は、アラキ工務店に言ってください)そこで少し使う材料のことです。

近年大量の輸入材が入ってきています。外部で使うにはタフで強靭な材料が必要です。国内産でもありますが、中にはそれをはるかに上回る物もあり、賢く使いたいものです。

アラキ工務店でも使えます。この材料の紹介を。

サイプレス

オーストラリア産 ヒノキ科 比重0.7 硬い
匂いがきつく家の中で使うとかなり鼻につくので、もっぱら外部用です。水の中に浸かっていても20~30年は問題なく白蟻にも強い(その為匂いがきつい)。

ウリン(アイアンウッド)

インドネシア中心の東南アジア産 クスノキ科
比重1.04 すごく硬い
通称アイアンの名前のように鉄のように硬く、水に入れると沈みます。加工は容易ではなく、釘はそのまま打てば曲がります。だから必ず下穴を開け打ち込みます。また雨にかかると赤い樹液が出て、廻りを赤く染めるので、2階に使い下に車などがあると赤く染まります。洗えば落ちますが---。この状態が半年ぐらいは続きます。ですが強靭な強さを持っている。

セランガンバツ

東南アジア産熱帯広葉樹 フタバガキ科
比重0.98硬い
これも加工は容易ではない。下穴を開けて釘で止めます(ビスで無いと反りが出たとき負けるかも)小口の切り口を見ると、まるで羊羹を切ったように樹液が詰まっていて、つるりとしています。ああ、これなら水なんかまったく寄せ付けず、水腐れに強いというのもわかります。あまり節もなく木目は綺麗です。

イペ

アマゾン流域の熱帯広葉樹 ノウゼンカズラ科
比重1.2 かなり硬い

耐水性 耐朽性 防虫性能が高くその分製材時におがくず等を吸い込むのは避けること。また肌や目につくとアレルギーをおこす人もあります。このように激しい防虫の成分を持っている材料です。

輸入量はそんなに多くはありません

ウエスタンレッドシーダー

北米大陸産 ヒノキ科 比重0.33 柔らかい
耐水性 耐朽性がありしかも加工が容易です。今まで述べたような材料のように強靭な強さこそないものの、レッドシーダーはいろいろに加工でき、使い勝手はいい材です。手摺や笠木、柱にも簡単に使えます。また薄く割れば板庇や板張り屋根にも使えます。硬い木は床材としてはいいのですが、複雑な加工には不向きで、使用には注意が必要です。

まだまだあります、輸入材といえば銘木ですがよくいう言い方で、紫檀 黒檀 タガヤサンといいます。外部材ではなく内部の化粧材ですが。昔から使われていました。そのほかでは チークでしょうか。ここらは全て東南アジア産です。

こうしてみると熱帯産の木材をたくさん使っています。イヤ名前だけならこれの20~30倍あるのですが、一般的ではありません。まず、心して無駄使いせずに大事に使っていきたいと思います。

今回ちょっと真面目すぎたかな~~



京町家耐震診断の派遣、 実際に行ってきました。

前回でも紹介しましたが「京町家耐震診断」の派遣の依頼が来まして、私が行ってきました。現地では約3時間ですが、帰ってから図面の清書、計算式の整理のうえに計算の実施、それをまた清書とまとめるとまとめるのに時間がかかります。

規定では訪問調査後約2ヵ月後に最終報告をお客様にお渡しするのですが、始める前は何そんなに必要ないと夕力をくくっていたのですが、これが大間違い。日々日常業務をしながらではそんなに時間が取れないので、瞬く間に10日20日と日が過ぎ、気がつけば残り2週間ほど、タイヘンタイヘンとまとめて本部へ送りチェックを受けて訂正し、再チェックを受け、OKが出てやっと先方へお伺いの連絡を入れて、お渡しする。

当時は高い報酬にシメシメと喜んだのですが、ナカナカ京都市もそんなに甘くはないですね～～。結局、自分の仕事をしているほうが良くて「費用対仕事」的にはきつかったですね。ハハハ、世の中そんなに甘くないと再度実感しました。ケレドモ非常に勉強になります。繰り返していくべき見ただけでだいたいの見当がつくように成れそうです。

2008年度の新入生を紹介します

齊藤 優介 君 です



ずっと大工になるのが夢だったので、毎日大工仕事ができて嬉しいし、やりがいを感じています。立派な大工になれるように日々、努力してはやく色々な仕事ができるようになりたいです。

これで見習い者は5名になりました。このごろ1番上の桜井君はかなり仕事が出来るようになりました。

齊藤君もそれを目指して頑張れ！



編集後記

一級建築士試験、私の頃は合格率12~14%だったのが、今は8%ぐらいだそうです。きつくなっているね、でも30代ぐらいまで取らないと、ナカナカ面倒になるのでしょうかね。根気が続かなくなるのは自分でも分かります。

私の試験のときは知り合いも一緒だったのですが、前日の仕事に疲れで試験中に寝てしまい、気がついたら後10分もなかったと言って、笑っていた人もいたな。

さあ、もうすぐ5月の連休です。いつもグズグズと過してしまいますが、今回は計画をたてて・・・。いや、グズグズでいいか。